

検査日	2023年 4月 25日	(機械の仕様・規格を記入する。)			
商品名	異物検査装置	電源電圧	AC100V、200W	ワークサイズ	250×250mm
製造年月	—————	周波数	50/60HZ	測定座標	0～5919
メーカー名	リコーインダストリアル			処理ブロックサイズ幅	10～20(100μm程度)
本体寸法	W700mm×D1320mm×H1610mm			処理ブロックサイズ高さ	10～20(100μm程度)

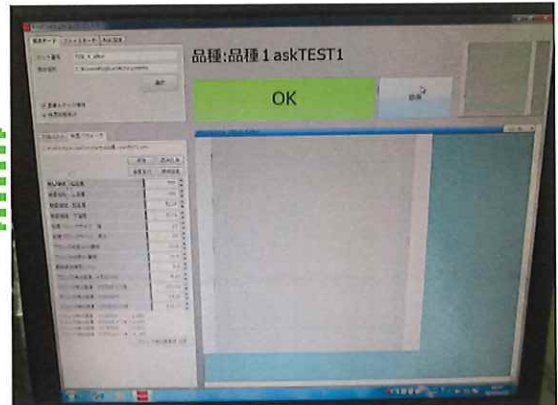
チェック項目	主な確認内容	チェック(○×)
1 外観	筐体・キャスター・継手・スイッチ等に著しいキズ・破損・動作不良はないか。	○
2 起動動作	POWER ON時に異常(異音・異臭・漏電・暴走・アラーム表示等)はないか。	○
3 SW設定	SWの機能は正常か。	○
4 保管・出荷準備	水抜き・ビス締め・清掃・入庫元に関するシール等を取り除く。	○
5 確認シール	動作確認済シールを貼る	○

備考(動作確認内容・不具合内容等) 機器の仕様・規格を満たす事を確認する。

- 1、外観確認。→装置全体及びワーク部分のガラス汚れクリーニング後問題なし。(但し、ワーク押さえガラスは無し。)
- 2、通電確認実施。→装置及び検査用パソコン立上げ問題なし。  
(パソコンOSパスワード:fujikura / 検査ソフト管理者モードパスワード:admin )
- 3、機能動作確認実施。→仕様書がない為、詳細設定については不明。(異物)外観検査シーケンス動作は問題なし。  
☆ 社内サンプル品製作、一辺が1mm程度の異物有シートと異物無シートで動作確認実施。
  - 3-1、外観検査ソフト立上げ後、約30以上しないと、安定しない。AGC(校正)実行時、エラー多発する。
  - 3-2、ワークテーブル付近は常に、微小なゴミがない環境下で作業しないと、ゴミによるエラーが発生する。
  - 3-3、処理ブロックサイズ幅/高さの数値は20未満にすると、ソフト検査時間が長くなりフリーズ状態になる時がある。  
(画像データに微細ゴミ等も投影されデータ量が増大し処理能力に限界が発生する為。)



ワーク押さえ  
ガラス無し



ゴミの付着がない時

取扱説明書(有) 操作説明書のみ、仕様書なし。

修理・改造履歴

年月日	修理・改造記録	作業者

SHIRASAGI 入力

(備考欄コメント)

[責任者]

動作(OK) 作業工数[ 16H ]

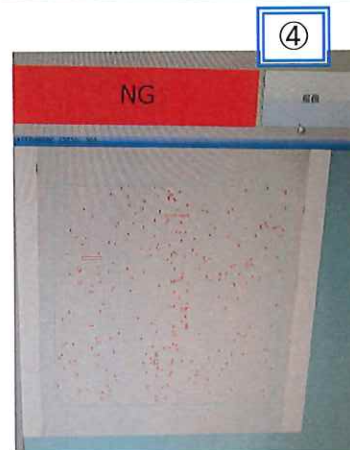
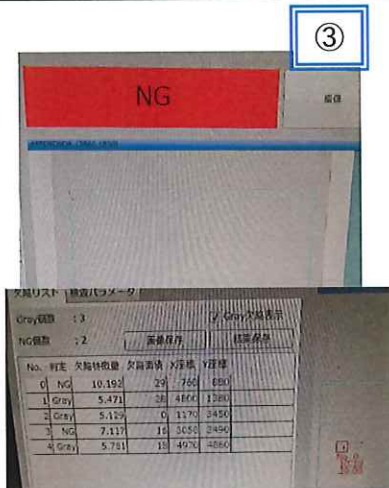
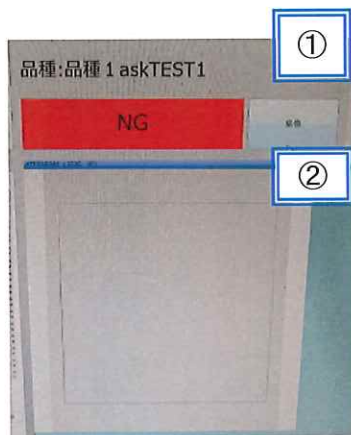
検査担当者[ 小林(克) ]

ユーザー名[

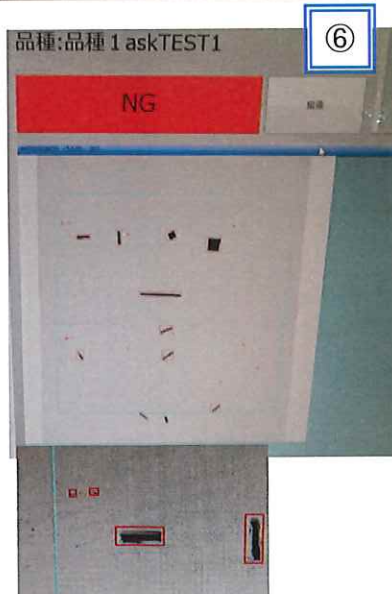
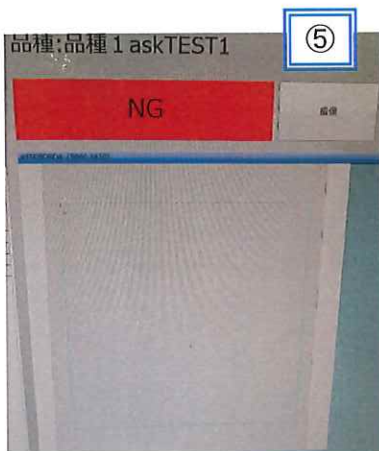
]出荷日 年 月 日



設定項目	1	2	3	4	5	6
検査領域 左座標	700	700	700	700	700	700
検査領域 上座標	700	700	700	700	700	700
検査領域 右座標	5219	5219	5219	5219	5219	5219
検査領域 下座標	5219	5219	5219	5219	5219	5219
処理ブロックサイズ 幅	5	10	20	20	50	20
処理ブロックサイズ 高さ	5	10	20	20	50	20
ブロック判定Gray閾値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
ブロック判定NG閾値	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
面積算出輝度レベル	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
ブロック検出基準 X方向平均	9.47	655.75	9.16	9.16	2.89	9.16
ブロック検出基準 X方向ばらつき	0.30	28.52	66.84	66.84	2.33	66.84
ブロック検出基準 Y方向平均	0.80	655.82	12.47	12.47	2.6	12.47
ブロック検出基準 Y方向ばらつき	0.30	28.57	85.91	85.91	4.3	85.91
測定画像No	①	②	③	④	⑤	⑥
コメント	測定枠全体 NG 異物無シート	測定枠全体 NG 異物無シート クリーニング	NG2個 Gray3個 異物無シート ニング	NG92個 Gray214個 異物無シート ゴミ付着	NG8個 Gray1個 異物無シート	NG23個 Gray1個 異物有シート



異物無シート



異物有シート

